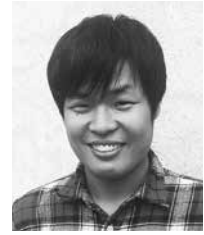


## 江戸川学園取手高等学校の先生方へ

文学部 社会情報学専攻 3年

金子 航大

(江戸川学園取手高等学校 2012年3月卒業)



## 拝啓

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。先生方にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、私が江戸川学園取手高等学校に期待を膨らませながら入学して、早5年経ちます。憧れの高校に入学できたあの日のことは今でもはっきりと覚えています。

規律ある進学校の生徒として恥じることはないように、時には厳しく、ご指導してくださった先生方には心より感謝しております。

私が江戸取で過ごした3年間の中で最も印象に残っていることといえば、やはりホームルームの時間を使って行なわれた道徳の授業です。「心力」の教育に特に力を入れる江戸取の道徳の授業では、講義の後、授業の感想や自分の考えを大学ノートのページ一面にびっしりと、そして思い切り書きました。先生方は私たち一人ひとりの感想や意見を真正面からしっかりと受け止めてくださり、私がノートに書いた感想と同じ分量の前向きなコメントをくださり、先生とのノートのやり取りを重ねるたびに自分

自身の考えが深まり、視野が広がりました。国際社会で生き抜いていくために人や文化の多様性を認めるべきであること、そして、社会の一員として自分にできることは何か、働くとはどういうことなのか…。江戸取での道徳の授業を通して、いろいろなことを考え、本当に多くのことを学びました。

大学に入ってからボランティアサークルに所属し、児童養護施設や児童館などさまざまな場所で子どもと関わるボランティアをしています。ボランティアに参加させて頂くうちに、「教育」に関心を持つようになり、都内の小学校や海外の学校での教育ボランティアにも参加させてもらう等、貴重な経験もさせてもらうことができました。さらに、私が所属しているボランティアサークルの中では、代表を1年間、務めさせて頂き、少しずつですが、江戸取が教育理念として掲げている『心豊かなリーダー』に近づいていると手ごたえを感じています。

また、学部のゼミ活動の中では地域の産業を通じたまちづくりの在り方を研究するためにフィールドワークを行い、日々汗をかきながら社会調査を行ったり、社会教育主事の任用資格を取得するために大学の授業にも一生懸命取り組んでいます。大学生活も残り半分を切ってしまいましたが、日々、驚きと発見ばかりの楽しいキャンパスライフを送っています。私がこんなに充実した大学生活を送れているのも、先生方のご指導があったおかげです。本当にありがとうございました。江戸取の先生方と再びお会いできる日を楽しみにしています。

皆様のますますのご健勝と江戸川学園取手高等学校の更なる発展を心よりお祈り申し上げます。



敬具